



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月5日

上場会社名 株式会社日神グループホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 8881 URL <https://www.nisshin-hd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堤 幸芳  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務 (氏名) 黒岩 英樹 TEL 03-5360-2016  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月8日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
 四半期決算説明会開催の有無: 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	12,599	0.6	△129	-	△189	-	△166	-
2022年3月期第1四半期	12,524	△6.6	222	△40.1	186	△45.9	81	△45.8

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 △171百万円 (-%) 2022年3月期第1四半期 59百万円 (△61.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△3.55	-
2022年3月期第1四半期	1.74	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	114,128	62,929	55.0	1,344.10
2022年3月期	114,969	64,132	55.7	1,370.11

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 62,814百万円 2022年3月期 64,028百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	0.00	-	22.00	22.00
2023年3月期	-	-	-	-	-
2023年3月期 (予想)	-	0.00	-	22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	86,000	5.6	5,300	1.6	5,100	1.6	3,600	2.2	76.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	46,951,260株	2022年3月期	46,951,260株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	218,232株	2022年3月期	219,232株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	46,732,695株	2022年3月期1Q	46,905,628株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	10
(会計方針の変更) .....	10
(会計上の見積りの変更) .....	10
(セグメント情報等) .....	11
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の長期化による経済活動抑制の懸念や、ロシアのウクライナ侵攻による資源価格の上昇など、依然として先行きは不透明であります。

当社グループの属する不動産・建設業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響は比較的少ないものの、地価の高止まりや建築資材の高騰等、事業環境は厳しいものとなっております。

こうした中、当社グループの当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が12,599百万円（前年同期比0.6%増）、売上総利益が1,490百万円（前年同期比22.9%減）、営業損失が129百万円（前年同期は営業利益222百万円）、経常損失が189百万円（前年同期は経常利益186百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失が166百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益81百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

## ① 不動産事業

新築マンション分譲事業において、当第1四半期の完成物件がなく、前期からの在庫6戸のうち5戸の引渡しにとどまった結果、売上高は1,175百万円（前年同期比63.8%減）、セグメント損失は433百万円（前年同期71百万円の損失）となりました。

（不動産事業セグメントにおける営業状況）

## ア. 営業収入の内訳

区分	前第1四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	
	金額 (千円)	前年同期比 (%)	金額 (千円)	前年同期比 (%)
不動産販売事業	3,107,033	△17.0	1,078,035	△65.3
不動産賃貸事業	98,834	△2.2	61,591	△37.7
その他附帯事業	38,937	46.7	36,193	△7.1
合計	3,244,806	△16.2	1,175,820	△63.8

## イ. 不動産販売事業の内訳

区分	前第1四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)			当第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)		
	数量	金額 (千円)	前年同期比 (%)	数量	金額 (千円)	前年同期比 (%)
新築マンション	69戸	2,383,098	△30.8	5戸	192,575	△91.9
中古マンション（買取再販）	23戸	587,145	344.4	12戸	342,621	△41.7
戸建	4戸	136,789	△17.1	10戸	396,238	189.7
その他（土地）	—	—	—	2物件	146,600	—
合計	—	3,107,033	△17.0	—	1,078,035	△65.3

## ウ．販売状況の推移

## a．新築マンション

期間（月）	2022年3月期 (2021年4月～2022年3月)				2022年4月以降
	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6
期首在庫（戸）	50	7	8	1	6
当期完成（戸）	30	95	50	291	0
当期引渡（戸）	69	94	57	286	5
振替（戸）	4	0	0	0	0
期末在庫（戸）	7	8	1	6	1

## b．中古マンション（買取再販）

期間（月）	2022年3月期 (2021年4月～2022年3月)				2022年4月以降
	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6
期首在庫（戸）	28	36	46	37	22
当期仕入（戸）	31	30	18	21	30
当期引渡（戸）	23	20	27	36	12
期末在庫（戸）	36	46	37	22	40

## c．戸建

期間（月）	2022年3月期 (2021年4月～2022年3月)				2022年4月以降
	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6
期首在庫（戸）	1	2	4	2	3
当期完成（戸）	5	2	0	15	10
当期引渡（戸）	4	0	2	14	10
期末在庫（戸）	2	4	2	3	3

## エ．未完成在庫（事業支出金）

	2022年3月期 (2021年4月～2022年3月)				2022年4月以降
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末
事業支出金 (百万円)	13,258	15,828	19,040	12,578	14,264

(注) 1 事業支出金は主に土地代及び建築代金の一部です。

2 2022年6月末に計上している事業支出金にかかる物件の販売計画は、売上高約39,900百万円です。

## オ. 契約状況

	前第1四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)				当第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)			
	期中契約高		期末契約残高		期中契約高		期末契約残高	
	戸数 (戸)	金額 (千円)	戸数 (戸)	金額 (千円)	戸数 (戸)	金額 (千円)	戸数 (戸)	金額 (千円)
分譲マンション	233	8,255,822	217	7,995,772	111	5,168,417	384	14,589,354

(注) 前連結会計年度末の契約残高にファンド事業者への売却2棟3,073百万円が含まれていたため、当第1四半期累計期間における期中契約高及び期末契約残高からは除いております。

## ② 建設事業

売上高が8,740百万円（前年同期比25.6%増）セグメント利益は182百万円（前年同期比3.9%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間における多田建設株式会社の受注実績・売上（完成工事高）実績は次のとおりであります。

			期首繰越残高	期中受注高	期中完成工事高	期末繰越残高
			(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
前第1四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	建築工事	外部取引	35,315,528	9,484,665	6,827,820	37,972,373
		内部取引	4,640,420	369	420	4,640,369
	土木工事	561,523	—	97,082	464,441	
	計	40,517,471	9,485,034	6,925,322	43,077,183	
当第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	建築工事	外部取引	37,826,314	7,114,581	8,168,600	36,772,295
		内部取引	1,456,264	17,710	1,009,794	464,180
	土木工事	1,272,193	86,960	524,672	834,481	
	計	40,554,771	7,219,251	9,703,066	38,070,956	

## ③ 不動産管理事業

不動産管理事業は、マンション共用部分の管理、ビル管理、賃貸物件の管理受託、これら管理業務に伴うリフォームや大規模修繕等の工事及び賃貸物件の販売を行っております。

賃貸物件の販売が増加したことにより、売上高は2,678百万円（前年同期比15.6%増）、セグメント利益は275百万円（前年同期比23.4%増）となりました。

## 営業収入の内訳

区分	前第1四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	
	金額 (千円)	前年同期比 (%)	金額 (千円)	前年同期比 (%)
不動産売上高	771,932	165.6	966,326	25.1
工事完成売上高	427,042	61.4	623,327	46.0
受託料収入	860,360	5.1	872,693	1.4
賃借料収入	151,602	△31.0	114,380	△24.6
その他	106,147	6.4	101,905	△4.0
合計	2,317,085	36.8	2,678,633	15.6

④ その他

日神ファイナンス株式会社は、少額の新規貸付を若干行っておりますが、縮小均衡を目指しております。売上高は4百万円（前年同期比8.1%増）、セグメント利益は1百万円（前年同期7百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は次のとおりです。

① 総資産

前連結会計年度末より841百万円減少し、114,128百万円となりました。この主な原因は、現金及び預金の減少4,415百万円、受取手形・完成工事未収入金等の増加1,061百万円、電子記録債権の減少319百万円、未成工事支出金の増加2百万円、販売用不動産の減少48百万円及び不動産事業支出金の増加2,906百万円であります。

② 負債

前連結会計年度末より361百万円増加し、51,198百万円となりました。この主な原因は、電子記録債務の減少3,360百万円、短期借入金の増加5,831百万円及び長期借入金の減少2,086百万円であります。

③ 純資産

前連結会計年度末より1,203百万円減少し、62,929百万円となりました。この主な原因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による減少166百万円及び剰余金の配当による減少1,031百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては2022年5月12日に公表した数値から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	61,302,820	56,887,115
受取手形・完成工事未収入金等	16,344,272	17,405,308
電子記録債権	662,069	342,238
販売用不動産	3,533,277	3,484,359
不動産事業支出金	16,446,116	19,353,001
未成工事支出金	15,284	17,516
短期貸付金	2,190	2,190
未収入金	313,702	423,683
その他	1,036,435	958,103
貸倒引当金	△75,060	△68,051
流動資産合計	99,581,107	98,805,465
固定資産		
有形固定資産	10,847,204	10,830,884
無形固定資産	74,215	68,814
投資その他の資産	4,467,454	4,423,222
固定資産合計	15,388,874	15,322,922
資産合計	114,969,982	114,128,388
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	4,218,411	4,294,667
電子記録債務	7,991,480	4,631,001
短期借入金	10,481,426	16,313,402
1年内償還予定の社債	88,000	88,000
未払法人税等	700,062	57,375
引当金		
賞与引当金	523,157	168,248
完成工事補償引当金	203,624	212,789
工事損失引当金	5,905	—
株主優待引当金	34,136	18,434
その他	3,231,845	4,137,897
流動負債合計	27,478,049	29,921,815
固定負債		
社債	312,000	312,000
長期借入金	20,975,474	18,888,889
引当金		
債務保証損失引当金	2,460	2,306
役員株式給付引当金	20,964	27,208
退職給付に係る負債	1,662,796	1,687,927
その他	385,675	358,770
固定負債合計	23,359,370	21,277,100
負債合計	50,837,420	51,198,916

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,111,411	10,111,411
資本剰余金	425,478	425,478
利益剰余金	53,380,500	52,182,484
自己株式	△112,694	△112,191
株主資本合計	63,804,696	62,607,182
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	226,354	208,976
退職給付に係る調整累計額	△2,665	△1,999
その他の包括利益累計額合計	223,688	206,976
非支配株主持分	104,176	115,312
純資産合計	64,132,561	62,929,471
負債純資産合計	114,969,982	114,128,388

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	12,524,922	12,599,531
売上原価	10,590,979	11,108,615
売上総利益	1,933,942	1,490,916
販売費及び一般管理費	1,711,327	1,619,964
営業利益又は営業損失(△)	222,615	△129,048
営業外収益		
受取利息	700	1,403
受取配当金	8,439	10,505
有価証券売却益	37,339	—
貸倒引当金戻入額	2,371	12,010
債務保証損失引当金戻入額	152	154
その他	23,946	15,642
営業外収益合計	72,950	39,716
営業外費用		
支払利息	87,461	97,110
支払手数料	1,369	1,108
その他	20,189	1,866
営業外費用合計	109,020	100,085
経常利益又は経常損失(△)	186,545	△189,416
特別利益		
固定資産売却益	2,386	—
投資有価証券売却益	—	54,604
特別利益合計	2,386	54,604
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	188,931	△134,812
法人税、住民税及び事業税	18,330	24,703
法人税等調整額	92,631	△4,556
法人税等合計	110,962	20,146
四半期純利益又は四半期純損失(△)	77,969	△154,959
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,714	11,135
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	81,683	△166,095

（四半期連結包括利益計算書）  
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）
四半期純利益	77,969	△154,959
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19,492	△17,377
退職給付に係る調整額	1,184	666
その他の包括利益合計	△18,307	△16,711
四半期包括利益	59,662	△171,670
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	63,376	△182,806
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,714	11,135

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これにより、「時価の算定に関する会計基準の適用指針」の適用による連結財務諸表に与える影響額については、現時点で評価中であります。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計	調整額	連結財務諸表 計上額
	不動産事業	建設事業	不動産 管理事業	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	3,244,806	6,958,758	2,317,085	12,520,650	4,271	12,524,922	—	12,524,922
セグメント間の内部売上 高又は振替高	39,688	540	54,368	94,596	4,672	99,268	△99,268	—
計	3,284,494	6,959,298	2,371,454	12,615,247	8,943	12,624,190	△99,268	12,524,922
セグメント利益又は損失 (△)	△71,259	176,125	223,527	328,393	△7,210	321,182	△98,567	222,615

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、信用保証業を含んでおります。

当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計	調整額	連結財務諸表 計上額
	不動産事業	建設事業	不動産 管理事業	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	1,175,820	8,740,459	2,678,633	12,594,912	4,619	12,599,531	—	12,599,531
セグメント間の内部売上 高又は振替高	39,499	1,009,794	20,617	1,069,910	11,020	1,080,930	△1,080,930	—
計	1,215,319	9,750,253	2,699,250	13,664,823	15,639	13,680,462	△1,080,930	12,599,531
セグメント利益又は損失 (△)	△433,191	182,956	275,735	25,500	1,635	27,135	△156,183	△129,048

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、信用保証業を含んでおります。

2. 報告セグメント合計額と四半期連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

セグメント利益又は損失 (△)	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	△461,895	△694,867
全社収益※1	509,215	672,450
全社費用※2	△145,887	△133,765
合計	△98,567	△156,183

※1 全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの経営指導料及び受取配当金であります。

※2 全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）  
該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）  
該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症の拡大による影響に関する会計上の見積りについて）

前連結会計年度の決算短信の（追加情報）（新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り）に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。